

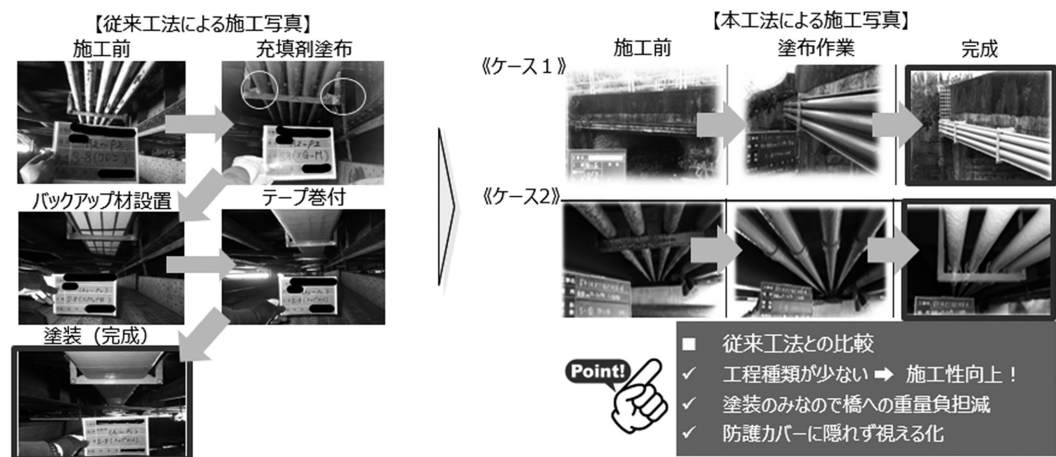
NTTは5月16日と17日の2日間、茨城県つくば市にある同社の筑波研究開発センターで「つくばフォーラム2024」を開催する。16日の基調講演は、つくば国際会議場大ホールで行う。フォーラムのテーマは「新たな価値創造へ 持続可能な社会を支えるアクセスネットワークへの挑戦」である。昨年3月にはAPN IOWN 1.0サービスが開始となり、NTTグループは新中期経営戦略で示した通り新たな価値創造と地球のサ

テナビリティのために、IOWNの研究開発に挑戦し続け、実用化に向けた加速を進めている。フォーラムではIOWNの「構想から実現へ」をより一層来場者に理解してもらうため、アクセス分野の多岐にわたる最新の研究開発成果を紹介する。また、今回も共催団体ならびにNTTグループ各社、NTT研究所の三位一体による技術の交流イベントなどを予定している。

つくばフォーラムは(一社)情報通信エンジニアリング協会、通信電線材協会、全国通信用機器材工業協同組合の共催、NTTグループの後援で開催される。参加対象はこれら共催団体の会員会社社員、フォーラム出展会社社員、これら関係者の招待者を対象としている。入場には事前登録が必要であり、フォーラム公式HPで受け付けている。

つくばフォーラム2024

5月16、17日 NTTが筑波研究開発センターで開催



【従来工法による施工写真】
施工前 充填剤塗布
バックアップ材設置 テープ巻付
塗布(完成)

【本工法による施工写真】
施工前 塗布作業 完成

Point! 従来工法との比較
✓ 工程種類が少くない → 施工性向上!
✓ 塗布のみなので橋への重量負担減
✓ 防護カバーに隠れず視える化

エクシオグループ

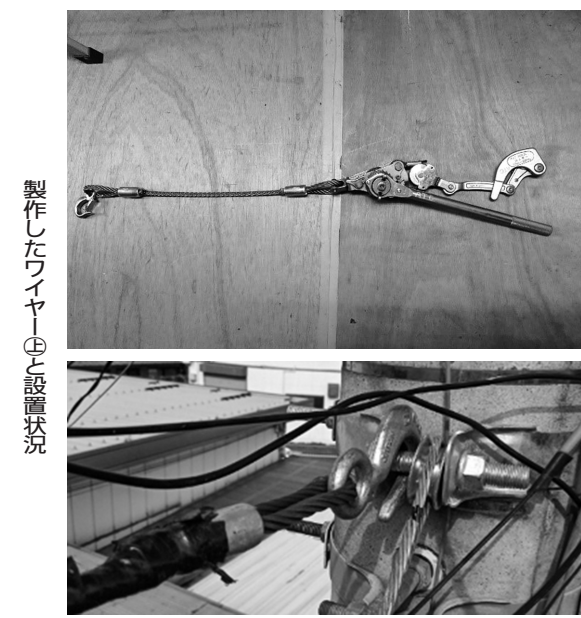
要なバックアップ材等の設置が不要となり施工性が向上した。また、防食工事に伴う既存橋梁添架設備の形態や橋梁本体にかかる重量の軽減が極めて小さいため、施に伴う河川管理者との工法協議稼働

橋梁添架設備に塗布型防食工法を提案 施行性が向上して工期短縮、コスト削減

も削減可能となる。この工法を用いることで、協議から完成までの全体工期が短縮される。また、防食に關する施工コストの削減されたが、さらにNTT東日本、NTT西日本のVE提案において、採用Aを獲得したことで、2023年度には前年度の6倍を超える20橋まで採用が拡大した。また、2024年3月に改訂されたNTTの電気通信技術標準実施方法(NTT東日本・2024・3・13、NTT西日本・同3・18)にて、この工法が反映された。同社グループ以外の通信建設会社各社の認知度向上も期待される。2024年度に採用されている工法のさらなる拡大に向け、各社から発注者への新設工法提案および工法変更提案の支援等を推進する。

各社出展紹介

◆巻き込み防止用シラ率引ワイヤー
電柱へのケーブルや吊り線(ケーブル)を支える鋼り線(鋼)の取り付け作業において、従来の張線(シラ)の使用方法では、電柱に巻きつけた両手ワイヤーが既存の電力線などを巻き込みリスクがあり、技術者は高い注意を払う必要があった。この問題を解決し、作業性の向上と安全性の確保を目的に、新しい「巻き込み防止用シラ率引ワイヤー」を製作した。この新型ワイヤーは、従来の両手ワイヤーを容易に取り外し、交換可能にすることで、作業環境に応じた柔軟な対応が可能となった。さらに、電柱に取り付けられているバンドのホルダーにフックを掛けるだけの簡



単な取り付け作業により、作業性が大幅に向上した。また、電線などを巻き込みリスクがなくなったことで、作業の安全性も高まった。この巻き込み防止用ワイヤーの導入により、電柱へのケーブルや吊り線の取り付け作業は、これまで以上に効率的かつ安全に行えるようになることが期待される。

巻き込み防止用の新型ワイヤー 作業性が大幅向上、安全性高まる

日本コムシス

IOWNの構想から実現へ アクセス分野の最新成果紹介

【モデルネットワーク】 R-4会場では、アクセスネットワーク技術の全体像を、NTTビル内からお客様宅までの実設備を用いたモデルでわかりやすく紹介いたします。また、別会場(R-3会場)では「通信基盤設備実物大モデル展示」を実施します。

【展示レコメンドシステム】 出展者と来場者様のコミュニケーションを活性化するため、来場者様の興味に合わせた展示を会場マップに表示し、おすすめ展示をレコメンドいたします。当日は北休憩所、E-3会場入り口、出口に設置した検索端末を利用して、ご自身のスマートフォンからおすすめ展示を閲覧することもできます。

【モデルネットワーク】 R-4会場では、アクセスネットワーク技術の全体像を、NTTビル内からお客様宅までの実設備を用いたモデルでわかりやすく紹介いたします。また、別会場(R-3会場)では「通信基盤設備実物大モデル展示」を実施します。

【新シナ領域を開拓する技術】(R-1会場) ここでは、運用ノウハウ、通信設備、通信技術の各々を活用した新たなシナ領域を開拓に向けた技術を紹介いたします。

【運用を抜本的にスマート化する技術】(R-1会場) ここでは、設備や運用のデジタル化、作業自動化によって究極なスマートエンジニアリング、スマートメンテナンス、スマートオペレーションを実現する技術を紹介いたします。

【到来、光のオンサイト業務】(R-1会場) 無派遣で心臓部を可能にする遠隔光路切替(ドットネットワーク)の統一管理と自律制御の故障対応を迅速化、大規模故障時の故障箇所推定・影響把握技術(Konan/NOIM)など、新たな好みのサービスを同時に実現する「ドット抽出技術」(内部劣化を解き明かす画像認識の)画像送受信技術

テーマ「新たな価値創造へ 持続可能な社会を支えるアクセスネットワークへの挑戦」

プログラム概要



AS研の海老根 所長が紹介

初日午前10時20分より、NTTの代表取締役執行役員による「入地球にやさしい社会インフラで実現するSmart World」と題した基調講演、続いてNTT東日本の野理彰副社長による「創からのつなぐ」をテーマとした基調講演2を予定しています。

基調講演、技術交流サロン、ワークショップなど多彩な企画

【陸・海・空・宇宙の全てが通信圏内】通信サービスのキャパシティー拡張を実現する衛星通信技術(VOGbps)を実現「高周波数分散アンテナシステム」における低減技術(雑音の加算を防ぐ)多くの衛星と組み合わせるGRoFを用いた上り通信の品質向上技術(多様なフィールドで活躍する無線の実現マルチプロトコル制御技術)audioV(無線×光の連携で工

COMSYS.HD

時代をになう インフラづくり。

大地に根を張るインフラが、安心の暮らしを支えます。太陽に伸ばした枝葉が、人々の笑顔を広げます。私たちは、時代を切り拓く最先端の技術で、豊かな社会を支える基盤づくりに挑戦します。

コムシスホールディングス株式会社
〒141-8647 東京都品川区東五反田 2-17-1
TEL 03-3448-7100 <https://www.comsys-hd.co.jp>

Engineering for Fusion

社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ

私たちの持つエンジニアリング技術は、ときに共鳴し、融合することで、ひとつの大きな「繋がり」となる。それはきっと、人々が迎える新たな時代への架け橋となるだろう。

EXEO
エクシオグループ株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号
TEL.03-5778-1111 <https://www.exeo.co.jp>